

## 自然再生専門家会議現地調査の報告

## 1. スケジュール

## ●平成21年10月29日

- ・西表島大原港よりグラスボートに乗船
- ・新城島下地礁地のサンゴ群集修復事業地の視察  
(サンゴ移植事業地、育苗地、良好及び不良なサンゴ群集生育地)  
→土屋先生及び藤原氏から現地説明
- ・懇親会

## ●平成21年10月30日

- ・石垣市星野の砂川氏圃場視察（赤土流出防止対策、地域振興等）
- ・名蔵アンパル干潟（ラムサール条約登録湿地）の視察
- ・意見交換会（於国際サンゴ礁研究モニタリングセンター）  
→土屋先生から石西礁湖自然再生の取組み（協議会等）について説明  
→環境省から石西礁湖自然再生事業について説明

## 2. 参加メンバー

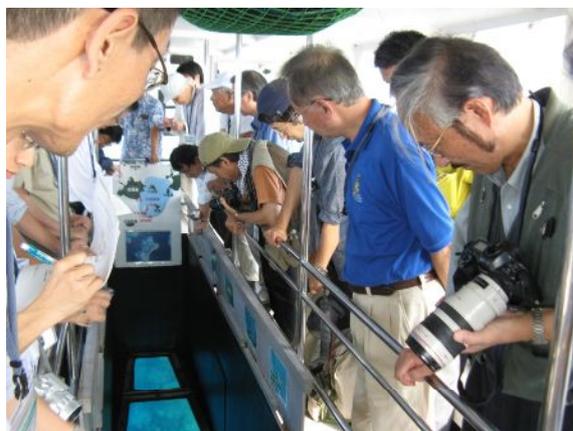
区分	氏名	所属・官職
自然再生専門家会議委員	つじい 達一 辻井 達一	財団法人北海道環境財団 理事長
	わだ 恵次 和田 恵次	奈良女子大学共生科学研究センター 教授
	ひろた 純一 広田 純一	岩手大学農学部共生環境課程 教授
	すずき 和夫 鈴木 和夫	独立行政法人森林総合研究所 理事長
	おおわだ 絃一 大和田 絃一	熊本県立大学環境共生学部 教授
	しんじ 五十八 進士 五十八	東京農業大学地域環境科学部造園科学科 教授
	こんどう 健雄 近藤 健雄	日本大学理工学部海洋建築工学科 教授
	よしだ まさひと 吉田 正人	江戸川大学社会学部ライフデザイン学科 教授
	いけや ほうぶん 池谷 奉文	財団法人日本生態系協会 会長
その他	13名（土屋先生、藤原氏含む）	

### 3. 意見交換会における主な意見について

- サンゴ及びサンゴが生息する海域環境のみならず、周辺環境（特に赤土）についてのモニタリングも必要である。
- 海水温上昇などの温暖化対策等グローバルで長期的な視野で取り組まなければならない課題と陸域対策等比較的にすぐに取り組める課題があるが、先ず取りかかりやすいところから始めるべき。
- 観光業・農業を含めた関連地域全体で石西礁湖の保全を考えていくことが大切。
- 石西礁湖の取組みにおいては、地域とともに働きかけていこうとしているところがよい。



石垣港での説明



移植地でのガラスポート観察



圃場視察（赤土流出防止対策）



意見交換会